

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 38	13	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↘ 38	74	ヘルパンギーナ	↗ 4	3
咽頭結膜熱	↗ 68	45	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 0	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 119	77	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 705	583	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 9	20
水痘	↗ 118	59	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 59	57	無菌性髄膜炎	↗ 1	0
伝染性紅斑(りんご病)	↘ 1	3	マイコプラズマ肺炎	→ 0	0
突発性発しん	↗ 44	29	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

**報告が多い感染症**

- 感染性胃腸炎
- A群溶血性連鎖球菌感染症
- 水痘

- 感染性胃腸炎 報告数: 705件(前週:583件) 地区別:有明,菊池,山鹿 年齢別:1歳 126件(17.9%)
- A群溶血性連鎖球菌感染症 報告数: 119件(前週:77件) 地区別:菊池,人吉,熊本市 年齢別:5歳 21件(17.6%)
- 水痘 報告数: 118件(前週:59件) 地区別:菊池,人吉,有明 年齢別:2歳 29件(24.6%)

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	20	4	19	53	195	32	15	1	15	0	0	0		9					
山鹿保健所	0	1	0	0	47	2	8	0	2	0	0	0	*	*					
菊池保健所	0	22	39	33	120	37	26	0	12	0	1	0							
阿蘇保健所	0	0	0	2	8	0	0	0	0	0	0	0	*	*					
御船保健所	0	0	0	0	9	1	0	0	0	0	0	0	*	*					
八代保健所	0	3	5	1	69	4	2	0	5	0	0	0							
水俣保健所	0	0	0	0	5	2	0	0	1	0	0	0	*	*					
人吉保健所	0	0	0	10	46	10	0	0	3	0	0	0	*	*					
有明保健所	18	0	1	5	144	16	4	0	3	0	0	0				1			
宇城保健所	0	6	1	13	37	8	3	0	2	0	0	0	*	*					
天草保健所	0	2	3	2	25	6	1	0	1	0	3	0							
計	38	38	68	119	705	118	59	1	44	0	4	0	0	9	0	1	0	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	38			1	2	3	6	3	7	2	2	10				1				1	
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	38	6	12	12	3	2	2		1												
咽頭結膜熱	68	1	1	8	9	12	10	10	11	1	2	1	2								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	119			2	3	11	15	21	15	12	16	12	12								
感染性胃腸炎	705	7	49	126	89	80	77	55	37	28	22	26	53	11	45						
水痘	118	1	2	25	29	15	14	14	11	3	1	3									
手足口病	59		3	11	17	8	9	5	2	2	1				1						
伝染性紅斑	1						1														
突発性発しん	44		30	14																	
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	4		1	1	2																
流行性耳下腺炎	0																				
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0						1														
流行性角結膜炎	9						1							1	1	4		1			1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1								1												
マイコプラズマ肺炎	0																				
クラミジア肺炎	0																				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0																				

大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

- 咽頭結膜熱 : 菊池
- 手足口病 : 菊池、山鹿
- 感染性胃腸炎 : 有明、菊池、山鹿
- 水痘 : 菊池

インフルエンザが  
流行の兆し。  
しっかりと予防対策を



感染性胃腸炎増加

全国的にみてインフルエンザの患者さんが増加しており、すでに流行シーズンに入った地域もみられます。県内でも、今シーズン初のインフルエンザ様疾患による学年・学級閉鎖の報告がありました。熊本市と有明からの報告で、今週の週報でも同地域からインフルエンザの報告がありました。インフルエンザは、これから増加し始め、1月から2月にかけてピークを迎えます。予防対策をしっかりと行い、感染を予防しましょう。

《予防対策》

①予防接種

インフルエンザの予防接種には、感染後に発病する可能性を低くする効果とインフルエンザにかかった場合の重症化を防止する効果があります。予防接種を受けてから効果がでるまで2週間程度かかるため、12月中旬までに接種を行いましょう。また、医療機関によっては、インフルエンザの予防接種が12月で終了してしまうところもありますので、早めに予防接種を受けましょう。

②手洗い

流水や石けんでの手洗いは、手指についたウイルスを流し落とす効果があります。ただし、洗いすぎが不十分だとウイルスを完全に除去することができません。意識して長めに手洗いを行いましょう。指先・手首・指の付け根は、特に丁寧に洗います。手洗いの後に、アルコール消毒を行うとより効果的です。

③咳エチケット

咳やくしゃみは他の人に向けないようにしましょう。また、咳やくしゃみができる時は、できるだけマスクをつけましょう。手のひらで受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。マスクは、感染者がつけたほうが、感染予防効果は高いと言われています。

感染性胃腸炎増加 感染性胃腸炎は、今後も増加する可能性がありますので、食品の加熱、食事前やトイレの後の手洗い、嘔吐物の適切な処理等の感染予防対策を行いましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん  
<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課